



奈良県感染症情報

平成 29 年 30 週(7 月 24 日～ 7 月 30 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

手足口病警報発令中です！！

定点当たり報告数が警報終息基準値の「2」を下回るまで警報発令が続きます。

手洗いをを行い感染予防に努めましょう！

❖ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ❖

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	手足口病	10.88	(7.41)	↑	↑	↑	↑↑
2	感染性胃腸炎	2.91	(3.09)	↓	↓	↓	↓
3	A群溶連菌咽頭炎	1.68	(1.32)	↓	↓	↓	→
4	ヘルパンギーナ	1.50	(1.21)	↗	↑	→	↑
5	RSウイルス感染症	0.88	(0.35)	↑↑	↑↑	↑↑	→

発生状況: **大流行** **流行** やや流行 **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↓やや減少**、**↓減少**

❖ 県内概況 ❖

手足口病は、依然報告数が多い状況が続いており、先週よりもさらに増加しています。特に中和保健所管轄内からの報告が多くなっています。

RSウイルス感染症が先週より増加しています。大阪府、和歌山県でも多くなっています。症状は、軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々ですが、特に乳児期早期(生後数週間～数カ月間)にRSウイルスに感染した場合は重篤な症状を引き起こすことがあります。乳児期早期のお子さんがいらっしゃる場合には、注意が必要です。マスクを着用し、おもちゃ・手すりなどをアルコールや塩素系の消毒剤で消毒しましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

夏休みになり手足口病を筆頭に感染症は全て減少しているなか、ヘルパンギーナが出てきている。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

手足口病が大流行中。高熱が1日程度先行する例が多いが、咽頭は発赤とヘルパンギーナ(アフタなし)の前兆を思わせるような特徴的な所見の例が多い印象。発疹は膝周辺から見られる場合が多く、保護者への観察のポイントとして説明している。無熱、発疹の少ない軽症例も多いが、2～3mmの水疱・かさぶたの間の地肌に細かい小丘疹が密集する例が稀にあった。重症例はなかった。

ヘルパンギーナはまだ少ない。他に感染性胃腸炎が流行中。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

アデノウイルス感染は減少してきたが、手足口病やヘルパンギーナの流行は続いている。発熱が先行する場合が多く、診断が遅れる場合もある。高熱遷延例もあるが髄膜炎の合併はあまり多くない。

夏カゼ由来と思われる胃腸炎も多い。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 29 年 第 30 週 7 月 24 日 ~ 30 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	14	11	10	2	3		
インフルエンザ	3 (0.06)	1 (0.07)		2 (0.20)				
小児科定点数	34	9	7	6	1	2		
RSウイルス感染症	30 (0.88)	8 (0.89)	2 (0.29)	20 (3.33)				
咽頭結膜熱	20 (0.59)	2 (0.22)	6 (0.67)	4 (0.57)	6 (1.00)	2 (1.00)		
A群溶連菌咽頭炎	57 (1.68)	10 (1.11)	13 (1.44)	2 (0.29)	28 (4.67)	4 (2.00)		
感染性胃腸炎	99 (2.91)	18 (2.00)	20 (2.22)	27 (3.86)	33 (5.50)	1 (0.50)		
水痘	13 (0.38)	5 (0.56)	3 (0.33)	3 (0.43)	2 (0.33)			
手足口病	370 (10.88)	76 (8.44)	106 (11.78)	91 (13.00)	82 (13.67)	5 (5.00)	10 (5.00)	
伝染性紅斑	2 (0.06)	1 (0.11)		1 (0.17)				
突発性発しん	17 (0.50)	6 (0.67)	6 (0.67)		5 (0.83)			
百日咳	1 0	1 0						
ヘルパンギーナ	51 (1.50)	13 (1.44)	14 (1.56)	6 (0.86)	9 (1.50)	3 (3.00)	6 (3.00)	
流行性耳下腺炎	12 (0.35)	1 (0.11)	4 (0.44)	2 (0.29)	5 (0.83)			
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	2 (0.20)			1 (0.50)	1 (0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎	1 (0.17)		1 (0.50)					
マイコプラズマ肺炎	2 (0.33)		2 (1.00)					
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(奈良市3、中和1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(奈良市1)
4類感染症	
5類感染症	梅毒2件(奈良市2) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(奈良市1) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(中和1)

❖ 第 30 週のトピックス ❖

◆世界肝炎デー

<http://www.forth.go.jp/topics/2017/07281041.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計	累計
インフルエンザ	男女							1									1	1			3	5255 5008
RSウイルス感染症	男女		2 4	7 7	4 4	1															14 16	278 270
咽頭結膜熱	男女		2	2	2	3	1	1	2												13 7	457 365
A群溶連菌咽頭炎	男女			3	2	2	4	6	6	1	2	2	2								30 27	1238 1077
感染性胃腸炎	男女		6 1	9 5	7 3	6 8	9 3	3 2	1 2	3 1	2 1		5 2	2 3	4 2						57 42	2614 2248
水痘	男女		1	1			3	1	1		1										9 4	165 173
手足口病	男女	1 3	17 14	84 68	57 42	19 20	18 8	6 1	1 4	2 1			1 1		1 1						207 163	936 756
伝染性紅斑	男女				1				1												1 1	32 34
突発性発しん	男女		3 5	7 2																	10 7	255 227
百日咳	男女	1																			1 1	4 4
ヘルパンギーナ	男女		1 5	9 8	6 3		1 5	2 3	1 3	1 1			1 1								21 30	162 147
流行性耳下腺炎	男女					2 2	1 1	1 1	1 1				1 1								7 5	365 333
急性出血性結膜炎	男女																					1
流行性角結膜炎	男女												1			1					2	84 82
細菌性髄膜炎	男女																					4 6
無菌性髄膜炎	男女	1																			1	15 5
マイコプラズマ肺炎	男女			1 1																	1 1	48 40
クラミジア肺炎	男女																					1
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																					26 26

◆注目疾患の動向◆ 全て定点当たり報告数

■ H29 ▲ H28 □ H27 〰 過去10年平均

